

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	全自動化学発光酵素免疫装置を用いた、可溶性インターロイキン2受容体・エストラジオール・成長ホルモン・プロラクチン・ソマトメジンC測定試薬の臨床的有用性の検討		
1.研究の目的と方法	(目的) 全自動化学発光酵素免疫装置を用いて、可溶性インターロイキン2受容体・エストラジオール・成長ホルモン・プロラクチン・ソマトメジンC測定試薬の臨床的有用性の検討を行う。 (方法) 従来測定方法と本法との測定値の比較 基礎的な性能を有しているかの確認 各疾患群における臨床的有用性の確認 従来法と本法の結果が乖離した検体の原因解析		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	診療過程で可溶性インターロイキン2受容体・エストラジオール・成長ホルモン・プロラクチン・ソマトメジンCの検査依頼があった方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	採血検体	
	(2)試料の取得の方法	通常検査の採血時の余った血液をいただきます。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、血液検査結果	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部
		氏名	小笠原 洋治
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学附属第三病院 古田 希	
(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2019年10月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部 研究責任者：教授 小笠原洋治（おがさわら ようじ） 窓口担当者：中田 瞳美（なかだ ひとみ） 電話番号：代表 03-3480-1151（内線 3419） 対応時間：9：00 ～ 16：00（休診日を除く）	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。